

授業科目 国際疾病分類論

【担当教員名】 森脇 健介	対象学年	2	対象学科	情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○			◎
【概要】 疾病の分類を中心に、その概念や種類・目的、診療録に記載された内容について学習する。「国際疾病分類」の定められたルールに基づいて、分類コードをコーディングするための理論と技法も学ぶ。				
【行動目標：SBO】 1. 国際疾病分類（ICD）の歴史を理解した上で、意義・使用目的について解説できる 2. ICDの基本体系および主要病態・原死因選択ルールを理解した上で、適切なコーディングができる				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	国際疾病分類（ICD）と我が国での利用	1		
2	ICDの歴史	1		
3	ICDの現状と課題	1		
4	その他のICDファミリー	1		
5	主要病態の選択ルールおよび原死因選択ルール	2		
6	原死因コーディング	2		
7	ICDの実際の利用	2		
8	ICDの使用上の注意点と問題	2		
9	ICD以外の疾病分類、処置分類	2		
10	診断群分類（DPC）とのかかわり	2		
11	コーディングの方法1	1, 2		
12	コーディングの方法2	1, 2		
13	コーディングの方法3	1, 2		
14	コーディングの方法4	1, 2		
15	まとめ	1, 2		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	疾病、傷害および死因統計分類概要 ICD-10 (2003年版) 準拠 第2巻内容例示表	厚生労働大臣官房統計情報部	財団法人厚生統計協会	2006・8,000円＋税
	疾病、傷害および死因統計分類概要 ICD-10 (2003年版) 準拠 第3巻内容例示表	厚生労働大臣官房統計情報部	財団法人厚生統計協会	2006・9,000円＋税
参考書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理 IV 専門・国際疾病分類法編 第5版		社団法人日本病院会	2009・4,200円
	日本病院会版 ICD-9-CM 手術および処置の分類 2003 -内容例示表-	社団法人 日本病院会 診療情報管理士教育委員会	株式会社 じほう	2010・4,800円＋税
	日本病院会版 ICD-9-CM 手術および処置の分類 2003 -索引表-	社団法人 日本病院会 診療情報管理士教育委員会	株式会社 じほう	2010・3,400円＋税
その他の資料				
【評価方法】 1. 毎回の小テスト or 宿題 (30点) 2. 期末試験 (70点)		【履修上の留意点】 レジュメをベースに適宜、板書・視覚教材を援用しながら講義を行う。講義外の自主的な学習を推奨する。 診療情報管理士認定試験を受ける者はICD-10を購入する必要がある。私語・飲食など、講義進行および他の受講者の学習の妨げとなる行為をしないこと。		